

とこは人材育成プロジェクト for High School

地域のボランティアリーダーとして活躍する人材の育成に貢献することを目的として、静岡県内の高校生に地域貢献活動・ボランティア活動の機会を提供し、所定の要件を満たした参加者を静岡県教育委員会が主催する「静岡県青少年指導者（初級）」に認定します。常葉大学で行われるイベントでのボランティア募集や地域から寄せられる様々な活動の情報を紹介しますので、「総合的な探究の時間」で課外活動の機会を探している生徒や、日頃から意欲的に課外活動に取り組む生徒向けの支援プログラムとしてぜひ活用ください。

※詳細は令和6年4月頃に大学ホームページ等でご案内予定です。

活動期間	令和6年4月1日(月)～令和7年1月31日(金)
申込受付	未定 ※ 本事業の詳細は令和6年4月頃に大学ホームページ等でご案内予定です。
主な流れ	高 校：本事業の詳細を確認のうえ、高校として参加申込。参加する高校生を各校で募集。
	<p>活動中</p> <p>大 学：地域貢献活動・ボランティア活動の情報を随時高校へ共有。 高校生：各自関心のある活動へ参加し、活動後は活動報告書を高校担当者へ提出。 高 校：活動報告書の内容確認、記録。</p> <p>・ 活動期間終了後、所定の要件(概ね年間20時間以上)を満たす高校生を「静岡県青少年指導者(初級)」に認定。 ・ 報告会への参加。</p> <p>※ 常葉大学では静岡県青少年指導者(中級)の取得を目指したプログラムも展開しており、初級取得を活かして、入学後には中級取得にチャレンジすることが出来ます！</p>

「とこは人材育成プロジェクト for High School」 問合せ先

常葉大学・常葉大学短期大学部 地域貢献センター

Tel : 054-297-6142 Fax : 054-297-6143 Email : community@sz.tokoha-u.ac.jp

高校生探究学習発表会(仮称)

静岡県内の高校生に探究学習の成果発表と交流の場を提供することを目的として「高校生探究学習発表会(仮称)」を開催します。

開催日時	令和7年1月26日(日)
開催場所	常葉大学静岡草薙キャンパス
応募受付期間	令和6年10月1日(火)～11月15日(金)を予定
募集内容	「総合的な探究(学習)の時間」「地域学」「課題研究」などの授業をはじめ、部活動や個人的な問題意識から取り組んだ学習成果を発表すること。テーマは自由。 実施要領・詳細は大学ホームページに掲載予定。
対象者	静岡県内の高校に通う生徒(グループ)。 テーマの設定からエントリーシートの作成まで、生徒が自分たちで取り組んだ(指導・助言を超えて先生の手が加えられていない)作品とする。
共催	静岡県教育委員会

高校生探究学習発表会(仮称)についてはこちら

<https://www.tokoha-u.ac.jp/for-teacher/presentation/>



「総合的な探究の時間」の 高大連携活動

令和5年度に引き続き、高大連携活動として「総合的な探究の時間」の講師派遣を実施いたします。本学における教育・研究の知見を提供し、本学および大学教育への理解を図るとともに、高校との連携や交流を通し、教育の充実・発展を目指して行きます。ご興味がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

開催場所	①各高等学校 ②常葉大学・常葉大学短期大学部(希望講座の所属キャンパスにて開催) ③オンライン ※詳細は講座一覧の「開催場所」をご確認ください。
開催時期	令和6年4月～令和7年3月末まで
申込方法	申込書に必要事項を記入のうえ、メール添付(nyushi@tokoha-u.ac.jp)またはFAX(054-261-2313)でお申し込みください。(中学校でもご希望があれば申込可能です。)
申込期限	実施希望日の1か月前まで ※事前調整・準備等に時間を要するため、余裕をもってお申し込みください。
講師派遣の決定	講師派遣の決定可否については、申込受付から2週間以内にメールにて回答いたします。
本事業に係る経費等	(1)旅費：講師の出張旅費は不要です。 高校側(教諭・生徒)が大学へ来校される場合の交通費は、高校でご負担ください。 (2)謝礼等は、必要ありません。 (3)機材等：高校での開催の場合、必要な機材(パソコン、液晶プロジェクター等)は原則として高校でご用意ください。

申込書(Word)のダウンロードはこちら

<https://www.tokoha-u.ac.jp/for-teacher/koudai/>



本件問合せ先

常葉大学・常葉大学短期大学部 入学センター

Tel : 054-263-1126 Fax : 054-261-2313 Email : nyushi@tokoha-u.ac.jp

令和6年度 常葉大学・常葉大学短期大学部 高大連携活動「総合的な探究の時間」の講座一覧

分野	①国際理解	②情報	③環境	④福祉	⑤健康	⑥資源エネルギー	⑦食	⑧科学技術	⑨町づくり	⑩伝統文化	⑪地域経済	⑫防災	⑬文化の創造	⑭教育・保育	⑮生命・医療	⑯職業	⑰勤労	⑱その他
----	-------	-----	-----	-----	-----	----------	----	-------	-------	-------	-------	-----	--------	--------	--------	-----	-----	------

継続的な支援 「〇」がついている講座は複数回にわたる支援も可能です。ご相談ください。

学生補助 「〇」がついている講座はご希望があれば学生が補助に入ることも可能です。申込書の備考欄にご記入ください。
ただし、日程等によってはご希望に沿えない場合や、学生の参加について条件がある場合がありますので、ご相談ください。

キャンパス	支援者の情報			「総合的な探究の時間」に実施する支援内容					申込番号
	所属	氏名	専門分野	分野	テーマ等	継続的な支援	学生補助	開催場所 ①各高等学校 ②大学 (所属キャンパス) ③オンライン	
教育学部 学校教育課程	小田切 真	科学教育学 理科教育学	③環境 ⑤健康 ⑦食 ⑧科学技術 ⑭教育・保育	「ラーメンとうどん」「シロップとカラメル」 「パンケーキとお好み焼き」 *実際に「お料理風実験」をしながら総合的・科学的に探究していきます。	〇	〇	②	1	
	出口 憲	物理学 エネルギー環境教育	⑥資源エネルギー ⑧科学技術	「日常生活を物理学の視点で見よう」 「エネルギー問題を考えてみよう」	〇	〇	① ② ③	2	
	吉田 哲也	教育心理学 (学習・記憶)	⑭教育・保育	「勉強のしかたについて考えよう」	〇	〇	① ② ③	3	
	笠沙 敏彦	数学教育	⑭教育・保育 ⑱その他	「現実の問題を数学を用いて解決する探究活動」の テーマ設定や探究活動遂行のアドバイス、指導助言	〇	〇	① ②	4	
	白鳥 絢也	教育課程 多文化共生	①国際理解 ⑭教育・保育 ⑱その他	「多文化共生教育(ブラジル)」 「日本の教育、世界の教育」「大学での学び」	〇	〇	① ②	5	
教育学部 生涯学習学科	堀切 正人	博物館学 美術史学	⑨町づくり ⑩伝統文化 ⑬文化の創造 ⑭教育・保育	「美術作品から見る現代社会の問題」 「地域の文化財、文化資源を学ぶ」 「生涯学習について」「博物館とは」 など	〇	〇	① ②	6	
	那珂 元	図書館情報学	②情報 ⑱その他(メディアリテラシー/メディア論)	「メディアリテラシーを学ぶ」 *全4回(①~④)の授業実施を想定しています。 ①「現代日本人のメディアリテラシーを知る」 ②「印刷メディアとしての書物と読書の関係を見る」 ③「メディアの社会的・文化的機能を理解する」 ④「ソーシャルメディア時代に求められるメディアリテラシーを考える」	〇	〇	① ②	7	
	中村 真博	スポーツ社会学 アダプテッド・ スポーツ科学	④福祉 ⑤健康	「パラスポーツについて考える」 「スポーツの価値について考える」	〇	〇	① ② ③	8	
	ケビン デミ	アメリカ史	①国際理解	アメリカ史のあらゆるテーマや出来事 *授業は英語で行います。	〇	〇	② ③	9	
外国語学部 英米語学科	新妻 明子	英語学・英語教育	①国際理解 ⑬文化の創造 ⑭教育・保育	「ことばと文化」「英語学を英語学習に活用する」 *テーマは要望により対応可能です。	〇	〇	① ②	10	
	天野 剛至	アメリカ研究 外国語教育	⑨町づくり	「地元の着地型観光資源を英語で発信しよう」	〇	〇	①	11	
	スティーブ ユーリック	アメリカの音楽	①国際理解 ②情報 ⑱その他(音楽)	「アフリカンアメリカン音楽」	〇	〇	① ②	12	
	那須野 紇子	比較文学 文化資源学	⑨町づくり ⑩伝統文化 ⑬文化の創造 ⑱その他(文学)	「地域資源・観光資源としての文学～静岡の文学 資源を考える～」	〇	〇	① ② ③	13	
	増井 実子	スペイン史 スペイン地域研究	①国際理解 ⑱その他	「バリエアで学ぶスペイン史」 「中世のイベリア半島—キリスト教世界とイスラム 世界のフロンティア」など	〇	〇	② (場合によっては①も可能)	14	
外国語学部 グローバル コミュニケーション 学科	谷 誠司 坂本 勝信	日本語教育	①国際理解	「やさしい日本語」	〇	〇	① ②	15	
	戸田 裕司	中国史・ 中国語教育	①国際理解 ⑱その他	「移住と開発から見た中国史—人口大国・中国の 履歴書」 「ことばから見た中国の人と社会」 「祖先祭祀から見た漢族の家族と社会」	〇	〇	① ②	16	
	ピーター ハーゲン 谷 誠司 土屋 和男	英語教育 多文化理解 持続可能な開発	①国際理解 ③環境 ⑥資源エネルギー ⑨町づくり ⑩伝統文化 ⑪地域経済 ⑫防災 ⑬文化の創造 ⑯職業 ⑰勤労 ⑱その他(循環型社会)	「ボードゲームを通して静岡地方の歴史、環境、 持続可能な開発を議論する」 *環境と歴史的背景についての簡単なレクチャー、地元を 当てるオリジナルのボードゲームの説明、ゲームプレ イ、考察とディスカッションです。90～100分が理想的 です。日本語または英語、あるいはその組み合わせで行 います。 参考) https://sites.google.com/view/tokoha-game-lab/games/flow について	〇	〇	②	17	
経営学部 経営学科	山田 雅敏	感性情報学 認知科学 人工知能	②情報 ⑭教育・保育 ⑱その他	「言葉が人生を決める」「言語と思考の本質」 「形式知と暗黙知の共有」 「技能伝承、コツ・スキルの伝授」 *テーマによりディスカッション形式の支援になる場合があります。	〇	〇	②	18	

草薙	経営学部 経営学科	澁谷 和樹	観光学	⑨町づくり ⑱その他	「観光による地域振興および地域課題の解決」	〇	〇	① ② ③	19
	社会環境学部 社会環境学科	喜久川 功	教育工学・情報教育	⑯職業	「ネットワーク管理者の役割」	〇	〇	②	20
	保育学部 保育学科	学科教員 (代表者:柴田貴一)	教育学・保育学	④福祉 ⑭教育・保育	「少子化対策について」 「幼児教育施設・保育施設の社会的役割」 「子どもと子育ての歴史と現在」 *ゼミ活動としての支援または教員個人による支援となります。	〇	〇	① ② ③	21
		伊藤 理絵	子ども学 笑いとユーモア	④福祉 ⑬文化の創造 ⑭教育・保育 ⑱その他	「笑い人間関係」 「子どものつばやきを“うた”にする」	〇	〇	① ② ③ 開催場所が各高等 高等学校の場合、最 寄駅等付近でない 場合は②③を中心 として行います。	22
		学科教員 (代表者:甲斐崇史)	保育・幼児教育	⑭教育・保育	「保育を対象とした探究の見方・考え方と取り組み方」 *ゼミ活動としての支援または教員個人による支援となります。	〇	〇	① ②	23
短期大学部 保育科	遠藤 知里	野外教育論 野外運動方法論	③環境 ⑤健康 ⑭教育・保育	「自然環境と身体」 「森林を活かした野外教育」	〇	〇	① ②	24	
	木下 藍	保育内容領域表現 造形表現 日本画制作実践	⑭教育・保育 ⑩伝統文化 ⑬文化の創造	「こどもと表現」 「日本画ワークショップ」	〇	〇	②	25	
瀨名	造形学部 造形学科	土屋 和男	建築学 (文化財建造物、まちづくり、 地域環境形成)	③環境 ⑨町づくり ⑩伝統文化	「地域遺産の活用」「歴史を活かしたまちづくり」 「リノベーションとSDG's」「木質建築とSDG's」	〇	〇	① ②	26
		村井 貴	デザイン学、サイエン スコミュニケーション	②情報 ⑧科学技術	「サイエンスコミュニケーションのすゝめ」	〇	〇	① ② ③	27
水落	法学部 法律学科	学科教員 (代表者:吉崎 暢洋)	法学	⑨町づくり ⑯職業 ⑰勤労 ⑱その他	「高校生のための法学入門」(法と文化、外国人と法、 取引と法、民事責任、家族と法、著作権、犯罪と刑罰、 ワークライフバランス、裁判など)	〇	〇	① ② ③	28
	健康科学部 看護学科	白石 葉子	基礎看護	⑤健康 ⑮生命・医療	「健康とは何か?」 「看護師は何をする人なのか?」	〇	〇	① ②	29
		龍野 浩寿	看護学分野 精神看護学領域	④福祉 ⑤健康 ⑮生命・医療	「看護師の世界」「患者さんへ寄り添うということ」 「こころの看護」	〇	〇	① ② ③	30
		学科教員 (母性看護学教員)	看護学	⑤健康 ⑮生命・医療 ⑯職業	「看護職の世界」「女性と健康」	〇	〇	① ② 実施期間: 5月~7月	31
	健康科学部 静岡理学療法学科	中村 浩一	運動器のリハビリ テーション コンディショニング スポーツ健康科学	⑤健康 ⑮生命・医療	「理学療法士の世界」	〇	〇	② ③	32
学科教員 (代表者:濱松 誠子、 青田 安史)	理学療法	④福祉 ⑤健康 ⑮生命・医療	「理学療法士の世界を知ろう」 *講義(グループワークなども含む)ならびに実技などはじ めとした体験	〇	〇	②	33		
健康プロデュース学部 健康栄養学科	池谷 昌枝	臨床栄養学	⑤健康 ⑦食	「健康的な食習慣」「管理栄養士の仕事」	〇	〇	② (都合が合えば① または③も可)	34	
健康プロデュース学部 こども健康学科	中村 俊哉	環境教育 エネルギー環境教育 食農保育	③環境 ⑥資源エネルギー	「地球温暖化」「生物多様性」 「エネルギー自給率」「マイクロプラスチック」	〇	〇	① ② ③	35	
健康プロデュース学部 心身マネジメント学科	村本 名史	スポーツバイオ メカニクス	②情報 ⑤健康 ⑧科学技術 ⑭教育・保育	「基本的な動作(走・跳・投)を科学する」	〇	〇	① ② ③	36	
健康プロデュース学部 健康鍼灸学科	関 真亮	東洋医学	⑤健康 ⑩伝統文化 ⑮生命・医療 ⑯職業	「ツボに触れる」 「あなたの知らない伝統医療の世界」「令和の針師」	〇	〇	① ②	37	
浜松	健康プロデュース学部 健康柔道整復学科	中井 真悟	解剖生理学 柔道整復・鍼灸 (医療専門職) TOK(知の理論)	⑤健康 ⑮生命・医療 ⑯職業 ⑱その他	「からだのしくみ(人体)」 「からだのしくみ(動物との比較)」 「柔道整復師と鍼灸師の仕事」「情報の知識化」	〇	〇	① ② ③ 三療を有していま すので、特別支援 学校(視覚障害)で の実験もご相談 ください。	38
		大塚 博史	バイオメカニクス	④福祉 ⑤健康 ⑮生命・医療	「動作分析・基礎編」	〇	〇	① ②	39
	学科教員 (代表者:櫻井 博紀)	リハビリテーション医学 パラスポーツ	④福祉 ⑤健康 ⑮生命・医療 ⑯職業	「パラスポーツとの関わり」 *講義と演習にて実施予定です。	〇	〇	① ②	40	
	学科教員 (代表者:櫻井 博紀)	リハビリテーション医学 疼痛学	④福祉 ⑤健康 ⑮生命・医療 ⑯職業	「痛みのリハビリテーション」 *講義と演習にて実施予定です。	〇	〇	① ②	41	
	保健医療学部 理学療法学科	青山 満喜	リハビリテーション医学 理学療法 老年学	④福祉 ⑤健康 ⑮生命・医療 ⑯職業	「人生100年時代、健康に過ごすために」 「高齢者のリハビリテーション」 「地域のリハビリテーション」 「介護予防のリハビリテーション」	〇	〇	②	42
学科教員 (代表者:松村 剛志)	リハビリテーション医学 (理学療法) 健康科学	④福祉 ⑤健康 ⑮生命・医療	「身体を測る—客観的に自分の体を捉え直す—」 「歩くを科学する—歩くを見える化し、健康と老化に ついて考える—」 「立つ、歩くのサポート方法を身につける」 *各テーマに関する講義と演習で2回以上の授業を予定しています	〇	〇	①(各校にて 演習も可能) ②	43		
保健医療学部 作業療法学科	学科教員 (代表者:遠藤 浩之)	リハビリテーション	④福祉 ⑤健康 ⑮生命・医療 ⑯職業	「障害とリハビリテーション」	〇	〇	① ② ③	44	